全日本科学機器展 in 東京 2008　学会連動セミナー

第4回 環境問題セミナー

―安全･安心のための極微量分析技術―

主催　日本化学会 環境・安全推進委員会

会　期　平成 20 年 11 月 27 日（木）13 時 00 分～16 時 00 分

会　場　東京ビッグサイト会議棟（東京都江東区有明 3-21-1、「全科展」会場内）

[交通]ゆりかもめ 国際展示場正門駅 下車徒歩／りんかい線 国際展示場駅 下車徒歩

募集人員　50名

内　容　極微量分析技術の需要の多くは、一昔前まで環境分析関係に限られてきた。しかしながら現在では、輸入食品の安全確認や、欧州においてＥＵが次々に打ち出す製品中の化学物質規則等に対応するため、多くの産業で極微量分析技術が必要不可欠なものとなっている。そこで本セミナーでは、極微量分析技術の最前線で活躍されているエキスパートに、具体例を交えながら近況を解説していただく。

13:00-13:45　講演 1　微量分析技術の最前線－質量分析はイオン化法がいのち

（関西大学化学生命工学部化学物質工学科）荒川　隆一

13:45-14:30　講演 2　環境試料および製品中のPFOS/PFOA分析技術とPOPs条約への対応

（株）島津テクノリサーチ 環境技術部）大井　悦雅

14:30-15:15　講演 3　極微量分析用超純水の製造と適切な使用方法

（オルガノ（株）機能商品事業部）黒木　祥文

15:15-16:00　講演4　高精度同位体比分析に基づく鉛摂取源の解析

（東京大学新領域創成科学研究科）吉永　　淳

参加費　5,000 円

参加申込方法　「11/27 第 4 回環境問題セミナー出席」と標記し、氏名・所属・連絡先住所・電話番号・FAX 番号・e-mail・会員/非会員の別を明記のうえ、申込先あて e-mail（ matsubara@chemistry.or.jp ）にてお申込みください。

申込先　日本化学会企画部　松原 FAX03-3292-6318　E-mail:matsubara@chemistry.or.jp

問合せ　日本化学会企画部　保倉 TEL03-3292-6163　E-mail:hokura@chemistry.or.jp